

令和6年度
兵庫県津波一斉避難訓練
令和6年11月5日（火）実施

実 施 報 告 書



兵 庫 県

【目次】

○訓練概要	1
○訓練結果	5
○広報状況	11
○アンケート調査	18

訓練概要

地震からの安全確保と津波からの避難行動に一体性をもたせるため、消防庁及び気象庁による「緊急地震速報伝達訓練」(11月5日)と日程を合わせて実施。

1 実施日時

令和6年11月5日(火)

※ 「津波防災の日・世界津波の日」(11月5日)関連事業として実施。

- 午前10時00分：地震発生
緊急地震速報伝達訓練に参加した市町において、防災行政無線などでお知らせ
- 午前10時02分：大津波警報発表
緊急速報メールの一斉配信、「Yahoo!防災速報」によるお知らせ

2 訓練対象地域

(1) 南海トラフ地震津波浸水想定区域



(2) 日本海沿岸地域地震津波浸水想定区域



※ 対象市町における津波浸水想定区域(浸水深)は、「兵庫県C.G.ハザードマップ」で確認できます。
[<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/cg-hm/hazard-map/index.html>]

3 訓練対象人数

約37万人(津波浸水想定区域の昼間人口)

4 訓練の想定

- (1) 南海トラフ地震 最大震度7、最高津波水位8.1m
- (2) 日本海沿岸地域地震 最大震度6強、最高津波水位5.3m

5 訓練の特徴

- (1) 県内沿岸地域全域を対象として訓練を実施。
- (2) 対象市町の住民や滞在者約410万人超を対象にした緊急速報メールの一斉配信。
- (3) 「ひょうご防災ネット」アプリを活用した周知。
- (4) 対象市町出身の著名人を起用したポスター・チラシ等の広報媒体による意識醸成。

6 訓練方法

訓練参加方法（行動指針）

1 【正確に知る】 主体的な避難行動の徹底

以下のことを知ったうえで訓練当日を迎えましょう。



- まずは、身の安全を守りましょう。
（「3つの安全行動」＝「まず低く！、頭を守り！、動かない！」）
- 強い揺れや弱くても長い揺れがあった場合には津波の発生があることを考えましょう。
- 津波の発生が想起される場合、津波警報等の情報を待たずに自らできる限り迅速に高い場所への避難を開始しましょう。
- 大津波警報を見聞きしたら速やかに避難しましょう。
- 海岸保全施設等よりも海側にいる人は、津波注意報でも避難しましょう。
- 避難支援者等の負担軽減に繋がることから、津波到達までに時間の余裕があっても、早めに避難行動を開始しましょう。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまで気をゆるめず、家に戻らないようにしましょう。

2 【実際に動く】 地震発生後、速やかに避難するための取組推進

以下のことを意識して訓練に参加しましょう。

- 避難誘導や防潮門扉の閉鎖にかかる実際の時間経過を意識しましょう。
- 緊急速報メール、ひょうご防災ネット、防災無線、広報車等の伝達広報ツールを幅広く活用しましょう。

3 【自らの安全を伝える】 安否確認のためのソフト対策の確認・改善点把握

日々進歩している減災に有効なソフト対策等を実際に試しましょう。

- 家族等の安否確認のために津波の危険性がある地域へ戻ったり、その場に留まったりすることを減らすため、災害伝言ダイヤル等（災害伝言板、LINE、X（旧Twitter）など）を利用し、避難後の家族等の安否確認方法をあらかじめ決め、訓練当日に実際に連絡を行いましょう。

訓練参加方法（行動指針）

<p>正確に知る 1</p> <p>まずは、身の安全を守りましょう。</p> <p>3つの安全行動 「まず低く！頭を守り！動かない！」 *ShakeOut 揺動が確認済</p> <p>津波の発生が想起される場合、津波警報等の情報を待たずに自らできる限り迅速に高い場所への避難を開始しましょう。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので警報・注意報が解除されるまで気をゆるめず、家に戻らないようにしましょう。</p>	<p>実際に動く 2</p> <p>避難誘導や防潮門扉の閉鎖にかかる実際の時間経過を意識しましょう。 緊急速報メール、ひょうご防災ネット、防災無線、広報車等の伝達広報ツールを幅広く活用しましょう。</p>
	<p>自らの安全を伝える 3</p> <p>災害伝言ダイヤル等（災害伝言板、LINE、Twitter など）を利用し避難後の家族等との安否確認方法をあらかじめ決め、訓練当日に実際に連絡を行いましょう。</p>

7 訓練情報

(1) 主な訓練情報発信ツール

- 緊急速報メール : 電気通信事業者の防災情報サービス (対応機種のみ)
- ひょうご防災ネット : 兵庫県の防災情報サービス (登録者のみ)
- Yahoo! 防災速報 : LINEヤフー株の防災情報サービス (登録者のみ)

(2) 発信内容

午前10時00分 緊急地震速報 (緊急地震速報訓練に取り組む市町からの防災行政無線、サイレン等)

午前10時02分 緊急速報メール (電気通信事業者による一斉配信)

Yahoo! 防災速報 (LINEヤフー株アプリにより配信)

題:【訓練】兵庫県津波一斉避難訓練

これは訓練 (DISASTER DRILL) です。

10時02分に兵庫県瀬戸内海沿岸及び淡路島、日本海沿岸に大津波警報が発表されました。身を守るための、適切な避難行動をとってください。

以上で訓練を終わります。(兵庫県)

Yahoo! 防災速報 (LINE ヤフー株アプリにより配信)

題:【訓練】大津波警報 (10時02分発表) 兵庫県

※訓練通知※

※DISASTER DRILL※

【発表時刻】

11月5日10時02分

大津波警報発表

3mを超える巨大な津波が予想されます。厳重に警戒してください。

【対象の沿岸】

兵庫県瀬戸内海沿岸及び淡路島

兵庫県日本海沿岸

直ちに安全な場所へ避難してください。

※本情報は、「兵庫県津波一斉避難訓練」の訓練通報です。

実際の災害時には、身の安全を確保し、適切な情報に基づき避難行動をとってください。

▼兵庫県津波一斉避難訓練

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/20241105.html>

※ 緊急速報メール(エリアメール)について

① 一般的な注意事項

- 受信できなかった場合、再受信はできません。
- 自治体の境界付近にいる場合や端末の状態などにより、同じ内容の通知が複数回届く場合があります。
- 機種によっては、受信できない場合や、受信するための設定が必要な場合があります。
- 通話中やパケット通信中、そのほかの通信中、電源を切っている場合、機内モードを設定している場合、電波状態が悪い場所（トンネル、地下など）では受信することができません。
- 緊急地震速報であっても、地震などの揺れを感じるよりも早く必ず受信できるとは限りません。
- マナーモード・公共（ドライブ）モード時での専用ブザー音、専用着信音、バイブレーションの鳴動は、携帯電話で設定できます。

② 気象庁のホームページ

ホーム > 知識・解説 > 特別警報について > 緊急速報メールの配信について
[<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/kinsoku.html>]

③ サービスを提供している携帯電話各社のホームページ

- NTT ドコモ
ホーム > サービス・機能 >
> 条件からサービスを探す > 緊急速報「エリアメール」 > ご注意事項
[<https://www.docomo.ne.jp/service/areamail/notice/?d=2&p=1,2>]
- au
トップ > スマートフォン・携帯電話 > 災害・緊急時の対策 > 緊急速報メール
[<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/>]
- ソフトバンク
ホーム > スマートフォン・携帯電話 > サービス >
> 緊急速報メール(緊急地震速報+津波警報+災害・避難情報)
[https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/]
- 楽天モバイル
トップ > オプションサービス > 緊急速報メール
[<https://network.mobile.rakuten.co.jp/service/emergency-alert-mail/>]

(3) 災害伝言ダイヤル・災害伝言板の開設

NTT 西日本、NTT ドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの各社により、

令和6年11月5日（火） 午前10時00分～午後3時00分

を含む時間帯に、災害伝言ダイヤル・災害伝言板（訓練用）を開設。

訓練結果

11月5日（火）午前10時00分に南海トラフ地震・日本海沿岸地域地震が発生、午前10時02分に大津波警報が発表されたという想定で、「地方公共団体が配信する災害・避難情報」として兵庫県から緊急速報メールを同時刻に配信し、これを合図に津波避難行動を行う形での訓練を実施した。

また、令和元年5月から運用している「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリのプッシュ通知機能を活用して訓練の周知を行うとともに、LINEヤフー(株)と連携し、「Yahoo! 防災速報」内の「防災トレーニング」機能を利用した津波避難にかかる事前学習ツールを提供した。

なお、国(消防庁・気象庁)の緊急地震速報訓練に伴い、市町などが情報伝達訓練を実施した場合には、緊急地震速報を知らせる音響等が発生するため、それを合図としたシェイクアウト訓練等（地震の揺れに対する身体の安全確保行動）への取組みも呼びかけた。

1 訓練実施の事前連絡があった団体数・人数

津波浸水想定区域に所在する事業所等に、参加を呼びかける事前アンケートを送付し、以下の訓練実施団体・人数の回答を得た。

○ 小中高大学	32校	35,475人
○ 幼稚園保育園	34園	3,865人
○ 社会福祉施設	36施設	1,362人
○ 企業	159社	42,186人
○ その他	140施設	33,921人（官公署、自治会、寺社 他）
合 計	401施設	116,809人（令和5年度 384施設 115,686人）

令和5年度兵庫県津波一宮避難訓練事前アンケート

問1 11月5日（火）10：00からの緊急一宮避難訓練参加の可否をご記載ください。
1. 可 2. 不可 3. 都合により別の日付で参加予定

問2 参加予定人数をご記載ください。
_____人

問3 どのような避難を実施するかをご記載ください。（複数選択可）
1. 想定している避難場所まで避難し避難する訓練
2. 机の下に隠れるなど身の安全を守る訓練（シェイクアウト訓練）
3. 屋外までの避難行動をとる訓練
4. 防災無線、社内アナウンスなどを利用した、避難呼びかけ訓練 ※訓練は職員・職員以外
5. 災害伝言板、LINE、X（旧Twitter）や学校、従業員連絡網等を利用した、災害確認・伝達訓練
6. 緊急速報メールを受信し、それぞれの避難場所や避難行動をイメージする訓練
7. 避難経路の確認や避難し先（住居・住居）への変更など、机上での訓練
8. その他

問4 貴団体のホームページなどで参加要請として告知を必要とするご回答をご記載ください。
1. 可 2. 不可

問5 マスクによる防犯の可否をご記載ください。
1. 可 2. 不可

<回答者>
団体名 _____
担当者（部署名・役職・氏名） _____
連絡先（電話番号・E-mail） _____

<回答用（Microsoft Teams）>

ご協力ありがとうございます

[事前アンケート]

2 主な避難訓練（取材受け入れ施設）

豊岡市内の老人福祉施設の協力を得て、第1部として「福祉施設における垂直避難訓練」、第2部として「災害時のドローン活用デモンストレーション訓練」を実施した。

【 概 要 】

○ 実施場所

社会福祉法人あまのほ 特別養護老人ホーム 楽々むら（豊岡市城崎町）

○ 訓練内容

・ 第1部「福祉施設における垂直避難訓練」

参加者：施設職員、施設利用者、県立日高高校福祉科生徒 等

内 容：施設利用者の安否確認の後、施設職員及び高校生により、施設内での垂直避難（車椅子及び担架を利用した搬送）を実施。



・ 第2部「災害時のドローン活用デモンストレーション訓練」

参加者：ドローン事業者（(有)北近畿スカイサービス、(株)糸乗建設、(株)てんと線）、兵庫県豊岡警察署、神戸地方気象台 等

内 容：ドローンによる津波フラッグの掲揚デモンストレーション訓練
スピーカー搭載ドローンによる複数言語での音声広報訓練
赤外線カメラ搭載ドローンによる被災者捜索・避難状況調査訓練
ドローンでの広報と連動した管轄警察署による避難誘導訓練



3 「Yahoo! 防災速報」内の「防災トレーニング」による学習

地震・津波が発生した際に「どのような行動をとるべきか」、「地震・津波の避難場所はどこか」を知り、その知識の定着を図るとともに、特に一斉避難訓練日に、仕事の都合等により避難場所への避難行動ができない場合でも、自らの避難先や避難経路等のイメージを持ってもらうことが可能となる事前学習ツールを LINE ヤフー(株)が本訓練と連携してスマホアプリ上に提供した。

○ 構成内容

①訓練プッシュ通知	②とるべき行動	③避難先の選択	④避難場所の確認
<p>大津波警報の詳細を表示し、画面下部で「防災トレーニング」に誘導する。</p>	<p>現在地を「屋外」、「屋内」から選択すると、それぞれに応じたとるべき行動が表示される。</p>	<p>津波からの避難に適すると思う避難先を選択すると、正否判定とともに解説が表示される。</p>	<p>③で、正否どちらの回答でも、現在地付近の津波にかかる避難場所マップを確認できる。</p>
			

【訓練実施の事前連絡があった主な団体】 <順不同>

※ 訓練参加について、公表の承諾があった団体（11月5日実施分）のみ記載。

※ 法人等の略語については以下のとおりとします。

(株) 株式会社

(医) 医療法人、医療法人社団、医療法人財団、社会医療法人

(一財) 一般財団法人

(一社) 一般社団法人

(学) 学校法人

(福) 社会福祉法人

(特非) 特定非営利活動法人(NPO法人)

(神戸市)

神戸市建設局東水環境センター・東灘処理場、昌和ビル（テクノソービ(株)）、寄神興産ビル、兵庫県信用保証協会、兵庫県信用組合本部、神戸国際大学、神戸市魚崎財産区 魚崎会館、(一財)神戸市小児救急医療事業団 神戸こども初期急病センター、舞子東海浜緑地（アジュール舞子）管理事務所、神戸市水上消防署、神戸印刷センター協同組合、JFE 建材(株)神戸工場、東洋水産(株)関西事業部、佐川急便(株)神戸営業所、IHミートソリューション(株)、神戸パックスセンター、兵庫県こころのケアセンター、プロメナ神戸（万葉倶楽部）、東町・江戸町ビル、(株)神戸酒心館、西濃運輸(株)神戸支店、六甲金属(株)、国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所、(株)OSK、阪九フェリー(株)旅客ターミナル詰所、植田製油(株)、甲南油脂(株)、高嶋酒類食品(株)、神戸ポートミュージアム、TOA(株) PI本社ビル、兵庫県立東灘高等学校、神戸市立博物館、介護付有料老人ホーム エレガリオ神戸、(福)神徳保育会 幼保連携型認定こども園 神徳館こども園、(福)鶯園 みなとじま COCORO 保育園、セントラル・タンクターミナル(株)神戸事業所、マーケム・イマージュ(株)西日本事業部、(株)築港カルモ倉庫、日本アルコール販売(株)神戸事業所、森本倉庫(株)六甲アイランド冷蔵倉庫、関西電力送配電(株)神戸電力所

(尼崎市)

兵庫県阪神南県民センター、近畿システム管理(株)、ファースト住建(株)、尼崎シルバー会館、(医)中馬医療財団 中馬病院、尼崎市中小企業センター、ニューアルカイックビル（都ホテル尼崎）、神田ビル（昌永不動産(株)）、石神ビル（(株)イシガミ）、尼崎市立戸ノ内保育所、岩谷瓦斯(株)尼崎工場、津田金属熱煉工業(株)、メック(株)、(福)輝福社会 明倫の郷、兵庫県武庫川下流浄化センター、(学)濱名山手学院 関西保育福祉専門学校、兵庫県立尼崎高等学校、認定こども園 関西国際大学附属 難波愛の園幼稚園、(学)法華学園 興隆学林専門学校、尼崎市立築地保育所、

(特非)よつば会 タオ工房、(福)光寿会 若葉保育園、尼崎信用金庫本店

(西宮市)

(医)喜望会 谷向病院、(医)信和会 めいわりハビリテーション病院、西宮市鳴尾消防署、鳴尾センター、JFEスチール(株)東日本製鉄所西宮、西宮市立今津小学校、西宮市立鳴尾幼稚園、西宮市立鳴尾南中学校、西宮市立高須小学校、兵庫県立西宮南高等学校、(福)真砂 ちどり保育園、(福)神港園 レインボー西宮、武庫川女子大学附属保育園、在宅介護サービス ツクイ西宮浜甲子園、(福)あゆみ会 浜甲子園2丁目保育園、(福)愛心会 スター保育園、介護付有料老人ホーム プレザングラン西宮香櫨園、(福)いちにわたけのこ会 ゆめっこわかば保育園

(芦屋市)

(福)緑山会 高齢者総合保健福祉施設 エルホーム芦屋、芦屋市立図書館

(姫路市)

兵庫県飾磨警察署、姫路市立飾磨保育所、姫路市環境局中部衛生センター

(相生市)

相生市立市民体育館、(福)播磨西部福祉会 天馬の家

(洲本市)

洲本市立図書館、淡陽信用組合本店、兵庫県洲本総合庁舎、玉青山 愛染院 千福寺、洲本市立洲浜中学校、やなぎオリーブ保育園

(南あわじ市)

南あわじ市阿那賀コミュニティプラザ、淡路じゃのひれアウトドアリゾート、南あわじ市立沼島中学校、(福)淡路島福祉会 養護老人ホームさくら苑

(豊岡市)

たがき旅館、民宿 伊藤四郎エ門、宇上石油店、(福)あまのほ 楽々むら

(香美町)

香住 いわや、slow glamping 風と海と、民宿まるみや荘、香美町立ジオパークと海の文化館、香美町学校給食センター、香美町商工会本所、香美町庁舎

(新温泉町)

山陰・浜坂 カニソムリエの宿 芦屋荘、新温泉町立浜坂認定こども園、株本建設工業(株)

○ 訓練参加者について

兵庫県内の津波浸水想定区域に所在する事業所等（南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（以下、「特措法」という。）第7条に定める南海トラフ地震防災対策計画（以下、「対策計画」という。）の作成義務がある事業所及び日本海沿岸地域における同種の事業所）に対して、個別にチラシ等を郵送し、訓練への参加呼び掛け（事前アンケート）を実施。

○ 対策計画の作成義務者

特措法第3条に基づく南海トラフ地震防災対策推進地域（以下、「推進地域」という。）のうち、兵庫県が作成した南海トラフ巨大地震津波浸水想定図で、水深30cm以上の浸水が想定される区域内（以下、「浸水想定区域」という。）において、同法第7条及び同法施行令第3条に掲げる施設又は事業を管理し、又は運営する者が作成対象（義務）者となる。

○ 兵庫県内の推進地域（ゴシック体は浸水想定区域がある地域）

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、加西市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、稲美町、播磨町、太子町

※ 対策計画を作成すべき者に係る区域(住所)

[\[https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/documents/tai_sakukei_kakukui_ki.pdf\]](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/documents/tai_sakukei_kakukui_ki.pdf)

○ 作成義務者の業種(概要)

- ・ 病院、劇場、百貨店、旅館その他不特定かつ多数の者が出入りする施設（映画館、キャバレー、遊技場、カラオケボックス、料理店、飲食店、マーケット、ホテル、店舗、診療所、図書館、博物館、公衆浴場、神社、寺院、教会、車両の停車場・船舶や航空機の発着場、駐車場、学校、福祉施設、放送局、地下街、文化財、その他の事業場等）
- ・ 石油類、火薬類、高圧ガスその他の危険物を製造、貯蔵、処理又は取扱いを行う施設
- ・ 鉄道事業その他一般旅客運送に関する事業（鉄道、軌道、一般旅客定期航路、旅客不定期航路、一般乗合旅客自動車運送）
- ・ その他、地震防災上の措置を講じる必要があると認められる重要な施設又は事業（水道事業、電気事業、ガス事業、鉱山、貯木場、動物園、勤務者が1,000人以上の工場等）

※ 作成義務者一覧

[\[https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/documents/sakuseigi_musya.pdf\]](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/documents/sakuseigi_musya.pdf)

広報状況

神戸市を拠点とするプロバスケットボールチーム「神戸ストークス」との連携協定に基づき、同チーム所属の道原紀晃選手（神戸市出身）にイメージキャラクターとしてご協力いただき、ポスター等を作成して各所に掲示した。

また、平成28年度に作成した、尼崎市出身女性デュオの「あまゆーず」による歌「走れタカダイ」を引き続き訓練テーマソングとして活用し、県庁舎内で放送するなど、訓練実施について周知を図った。

あわせて、県及び市町から、活用可能なツール（ホームページ、広報誌、X（旧ツイッター）、Instagram等）を最大限に活用し、広く住民に周知するとともに、「Yahoo! 防災速報」のプッシュ通知や、「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリのプッシュ通知機能を情報発信ツールとして活用し、各登録者へ周知した。

兵庫県内の津波浸水想定区域に所在する事業所等に対しては、個別にチラシ等を郵送するとともに、事前アンケートにより訓練参加を呼びかけた。

1 広報ツール

- (1) ポスター A1サイズ1,000枚、B2サイズ300枚、A3サイズ1,300枚
※ 主に公共交通機関・集客施設・行政機関等で掲示
- (2) チラシ A4サイズ40,000部



[ポスター]



[チラシ]

(3) テーマソングCD

「走れタカダイ ～津波避難のうた～」

- 作詞 兵庫県災害対策課
- 作曲 山本茂之
(はばタンカーニバル作詞作曲者)
- 編曲 品川明子・あまゆうず
- 歌 あまゆうず



【1番】

君と僕の 大事な命
守ろう 守ろう 津波から
命を守る 安全な場所
みんなが助かる 安全な場所

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
避難所へ行こう いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
大きな波から 命を守ろう

【2番】

家族 友達 大事な命
逃げよう 逃げよう 冷静に
家族を守る 安全な場所
みんなが助かる 安全な場所

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
約束の場所へ いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
みんなの力で 命を守ろう

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
避難所へ行こう いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
大きな波から 命を守ろう

手を取り 声掛け 命を守ろう

- 歌唱動画・歌詞カード・楽譜は、兵庫県ホームページ「兵庫県津波一斉避難訓練」のページに掲載しています。
- 県庁内では、「走れタカダイ」について
毎月17日（10月を除く）、10月の毎週月曜日、訓練前週（11月1日）の正午の休憩時間（午後0時50分）に放送しています。

2 主なポスター等配布・依頼先（訓練対象市町 15市3町内）

(1) 官公庁

市町、県民局、警察署・運転免許更新センター 等

(2) 公共交通機関

阪神電車、阪急電車、山陽電車、神戸電鉄、神戸新交通、関西エアポート神戸(株)、(株)こうべ未来都市機構（神戸－関西ベイシャトル）、JR西日本（福知山管理部）、京都丹後鉄道、高速道路SA 等

(3) 学校
県立学校（高等学校、特別支援学校）、私立高等学校、大学 等

(4) 集客施設等
スーパー、複合商業施設、映画館、道の駅 等

(5) 事業所
病院、郵便局、金融機関 等

(6) 団体
兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県栄養士会、兵庫県経営者協会、兵庫県理容生活衛生同業組合、兵庫県美容業生活衛生同業組合、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合、兵庫県葬祭事業協同組合連合会、兵庫県タクシー協会、兵庫県バス協会、兵庫県警備業協会、兵庫県遊技業共同組合、神戸元町商店街連合会 等

3 テレビ・ラジオ放送

- ひょうご発信！ (10月27日 サンテレビ)
- 防災ホットライン (10月17日 12:10～ ラジオ関西)
- 寺谷一紀のまいど！まいど！「防災マッカセナサイ！」(10月25日 ラジオ関西)

4 兵庫県広報

(1) 記者発表 (10月24日 県ホームページ)
訓練の概要及び取材可能施設等についてプレスリリース

(2) 県広報誌
○ 県民だよりひょうご (10月号)



兵庫県津波一斉避難訓練を実施

南海トラフ地震と日本海沿岸地域津波を想定した住民一斉避難訓練を実施。緊急速報メールを配信し、シェイクアウト訓練や津波避難・安否確認訓練などを行います。

◆対象市町＝神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市、豊岡市、香美町、新温泉町

📅11月5日🕒10:00～

📍県災害対策課

☎078-362-9810

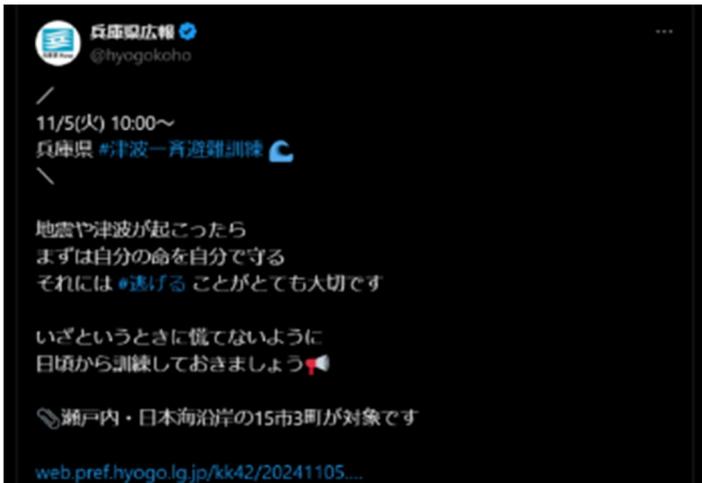
☎078-362-9911

兵庫県津波一斉避難訓練 🔍

(3) X (旧Twitter)

○ 10月29日 兵庫県広報

津波一斉避難訓練 [https://x.com/hyogokoho/status/1851072862301667471]

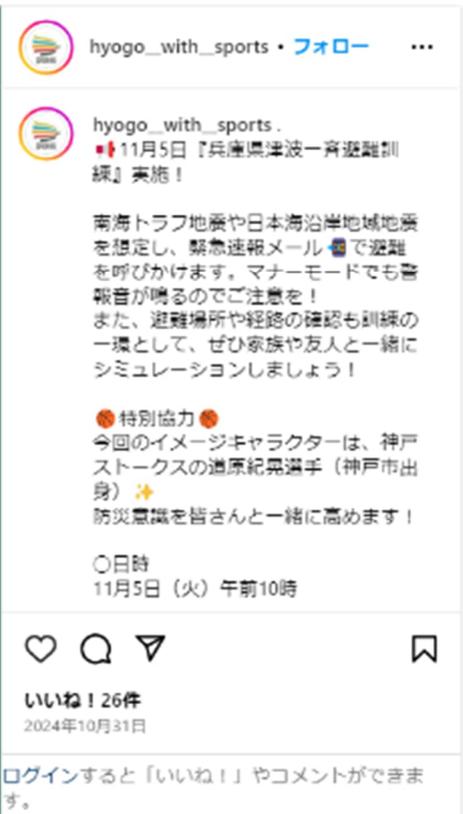


(4) Instagram

○ 10月31日 兵庫県広報

津波一斉避難訓練

[https://www.instagram.com/p/DBxaKzfSHhh/?igsh=MXNkeDZxNmt1Nmo1bA%3D%3D]



○ 11月1日 兵庫県広報

津波一斉避難訓練

[https://www.instagram.com/p/DB0rcMWP5l6/?igsh=M3R5b25rMHdxazg5&img_index=1]



(5) ひょうご防災ネット

○ 事前広報 ※ 兵庫県緊急情報登録者向け

日時：10月30日(水) 16:30

表題：11月5日(火)に津波一斉避難訓練を実施します

このメールは、緊急情報メールの受信登録をしている方に送っています。

兵庫県では、11月5日(火)の午前10時頃から、淡路島・瀬戸内海沿岸及び日本海沿岸18市町で、南海トラフ地震・日本海沿岸地域地震を想定した「津波一斉避難訓練」を実施します。

訓練地域内で、緊急速報メールに対応している携帯電話をお持ちの方に対し、マナーモードであっても警報音が鳴り、避難を呼びかけるメールを送ります。

まだ訓練をご存じではない周りの方々へも、ぜひお知らせください。

避難先をイメージすることも訓練の1つです。訓練の前に、いざというときに速やかに避難行動がとれるように、「ひょうご防災ネット」スマホアプリから「マイ避難カード」を作成してみましょう。

また、南海トラフ地震・日本海沿岸地域地震によって津波が発生した場合の浸水範囲や深さを「兵庫県 CG ハザードマップ」で確認できます。今いる場所の津波ハザードマップもご覧いただけます。

詳しくは兵庫県ホームページをご覧ください。↓↓↓↓

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/20241105.html>

(「ひょうご防災ネット」スマホアプリの「防災関連情報リンク」からアクセスできます。)

○ 訓練前日 ※ 訓練対象者全員

日時：11月4日（月・祝）17:01

表題：11月5日津波一斉避難訓練実施

11月5日は津波防災の日です。

明日11月5日（火）、兵庫県では18市町（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市、豊岡市、新温泉町、香美町）と連携して南海トラフ巨大地震・日本海沿岸地域地震による津波を想定した、一斉避難訓練を実施（午前10時02分頃に緊急速報メールを配信）します。

訓練地域内で、緊急速報メールに対応している携帯電話をお持ちの方に対し、マナーモードであっても警報音が鳴り、避難を呼びかけるメールを送ります。

また、上記18市町と隣接する市町の境界付近では、訓練地域でなくても緊急速報メールを受信してしまう可能性があります。

この機会に災害時の避難行動などを改めて確認していただくとともに訓練参加にご協力をお願いします。

5 その他広報

(1) 鉄道 駅舎・車内等放送（主に1週間前～当日）

【放送文例】

「兵庫県では、11月5日の午前10時から、18市町で、南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震を想定した『津波一斉避難訓練』を実施します。

訓練当日午前10時過ぎ、緊急速報メールに対応している携帯電話をお持ちの方に、避難を呼びかける緊急速報メールが届きますので、その場でただちに身を守る行動を取るなどしてください。

なお、マナーモードであっても警報音が鳴りますのでご注意ください。

以上、防災訓練に関する兵庫県からのお知らせでした。」

(2) Yahoo!防災速報（10月30日）

○ 訓練予告

日時：10月30日（水）16:30

表題：【お知らせ】11月5日に「兵庫県津波一斉避難訓練」を実施します

11月5日の津波防災の日に、兵庫県で南海トラフ巨大地震及び日本海沿岸地域地震による津波を想定した避難訓練が行われます。

ヤフー防災速報でも、当日の10:02に訓練のプッシュ通知を配信いたします。

それに先がけ、地震・津波発生時にどう行動するかを学ぶ「防災トレーニング その時、どう動く？」を公開中です。

いざという時に自分の身を守るためには、どのような行動が必要かをあらかじめ確認しておきましょう。

※ 訓練通知の際には、「訓練通知」といった表記を行い、実際には地震や津波などが起きていないことが分かるよう配慮いたします。

※ 訓練通知が不要な方は、アプリの「設定 > お知らせ」から「お知らせ」または「オフ」を選択してください。

※ 大災害の発生や悪天候などの影響で、訓練は中止となる場合があります。

▼兵庫県津波一斉避難訓練実施

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/20241105.html>

アンケート調査

兵庫県では、11月5日（火）の訓練を受けて、今後の訓練実施等の参考とするため、以下の2つのアンケートを実施した。

1 津波一斉避難訓練 実施事業者アンケート集計結果

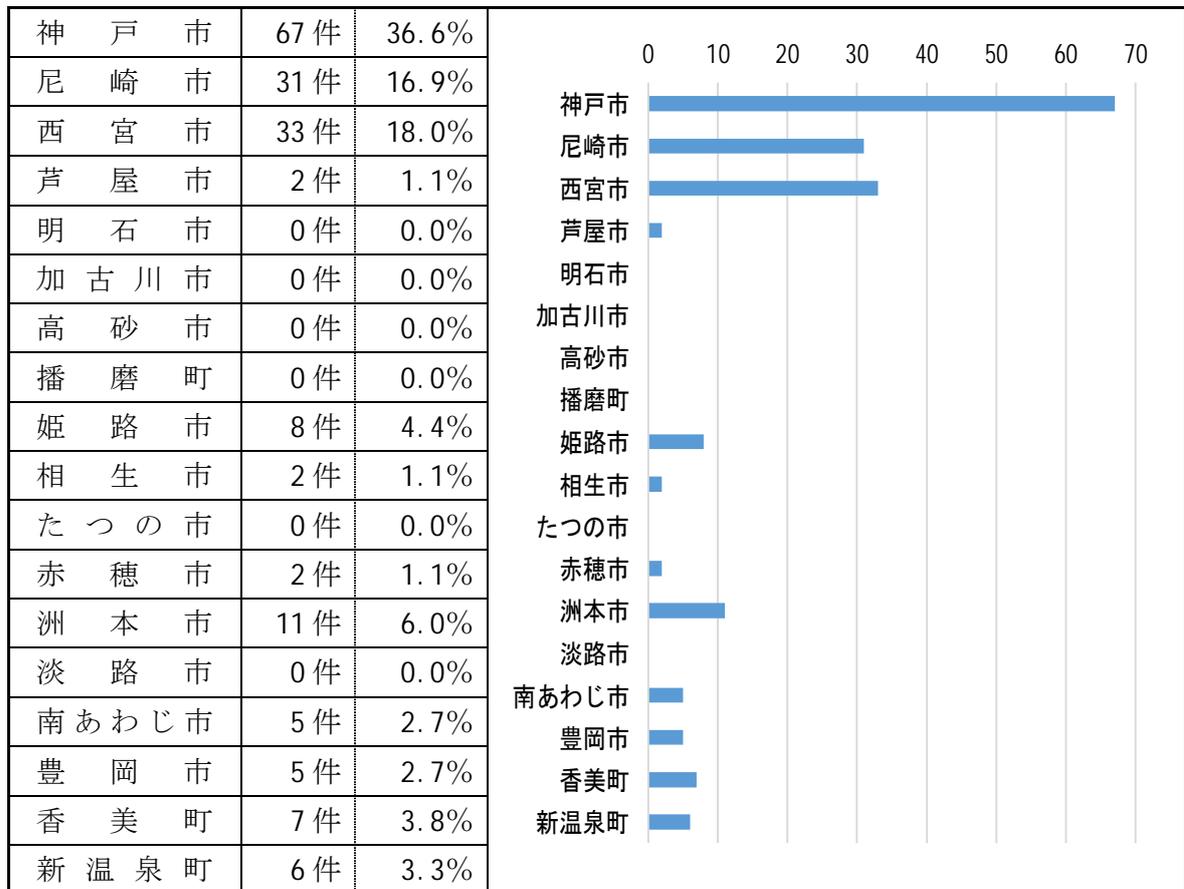
○送付日：令和6年11月8日（金）

○集計方法：訓練に参加した団体（401団体）に対して、本アンケートを送付

(1) 回答件数 183件（返送率：45.6%）

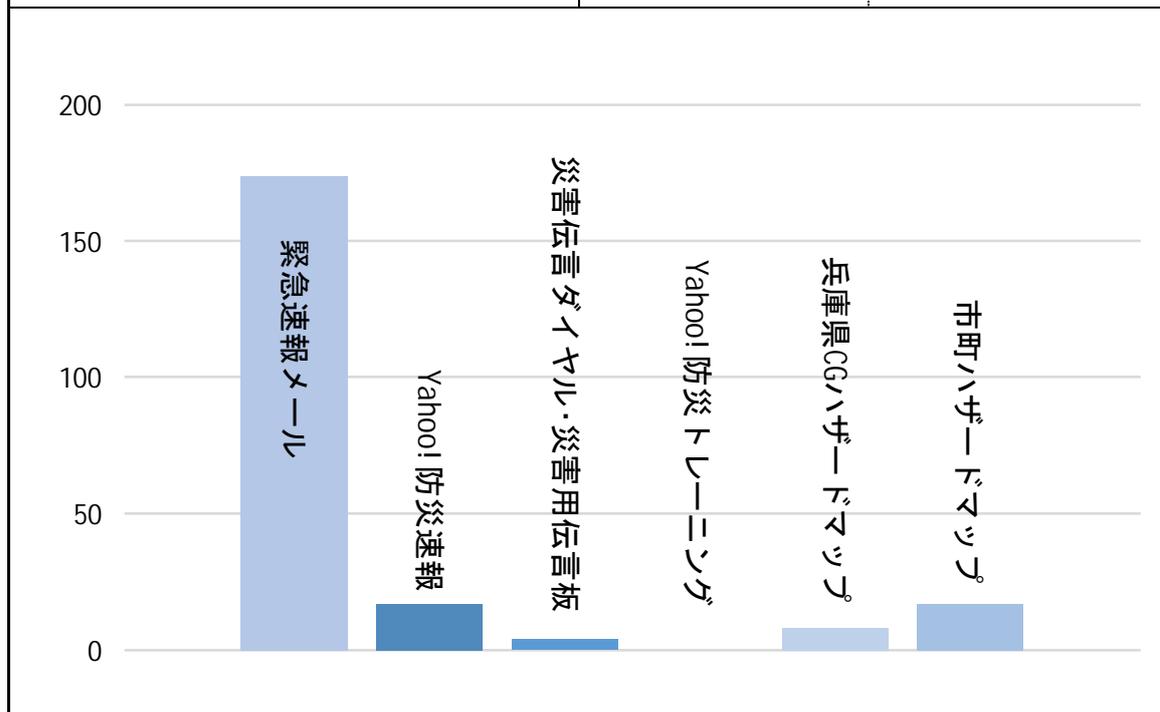
(2) 回答内容

【問1】実施事業者・団体の所在地



【問2】 11月5日には、スマートフォンなどの携帯端末を利用して以下の防災情報の提供を行いました。実際に体験（受信や閲覧含む）したものを教えてください。（複数選択可）

1	緊急速報メール	174件	95.1%
2	Yahoo! 防災速報	17件	9.3%
3	災害伝言ダイヤル・災害用伝言板	4件	2.2%
4	Yahoo! 防災トレーニング	0件	0.0%
5	兵庫県CGハザードマップ	8件	4.4%
6	市町ハザードマップ	17件	9.3%

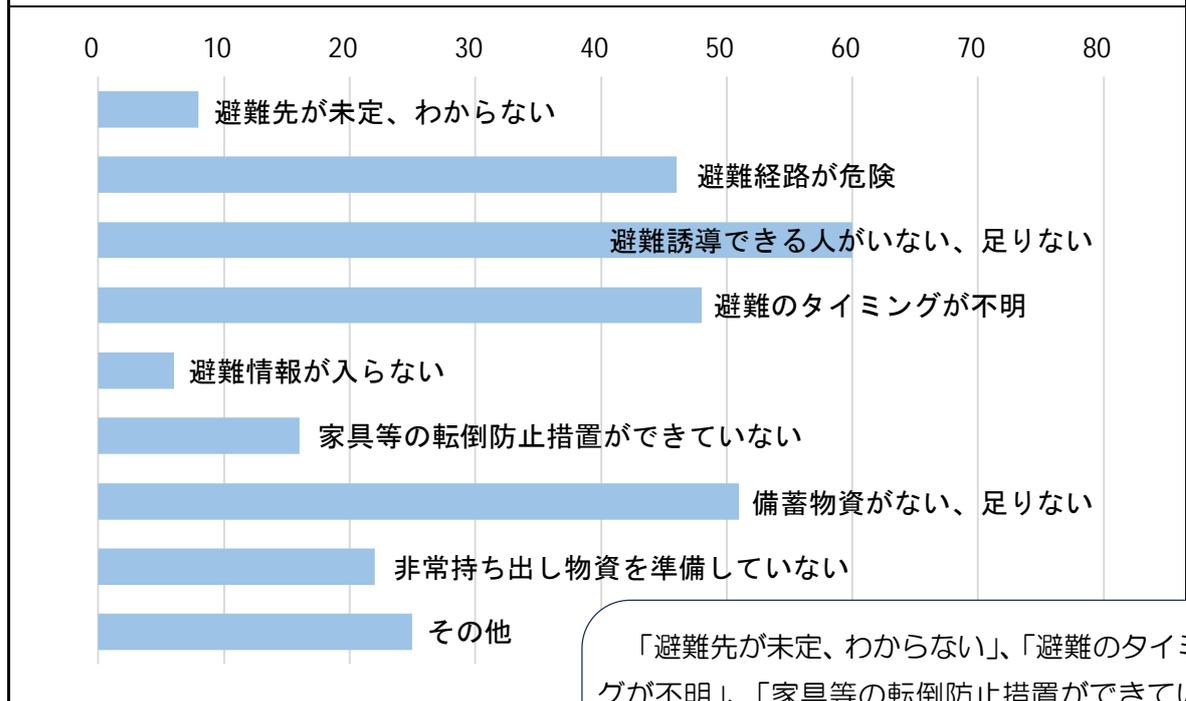


【問3】貴団体に感じている、南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震発生時の課題を教えてください。（複数選択可）

1	避難先が未定、わからない	8件	4.4%
2	避難経路が危険	46件	25.1%
3	避難誘導できる人がいない、足りない	60件	32.8%
4	避難のタイミングが不明	48件	26.2%
5	避難情報が入らない	6件	3.3%
6	家具等の転倒防止措置ができていない	16件	8.7%
7	備蓄物資がない、足りない	51件	27.9%
8	非常持ち出し物資を準備していない	22件	12.0%
9	その他	25件	13.7%

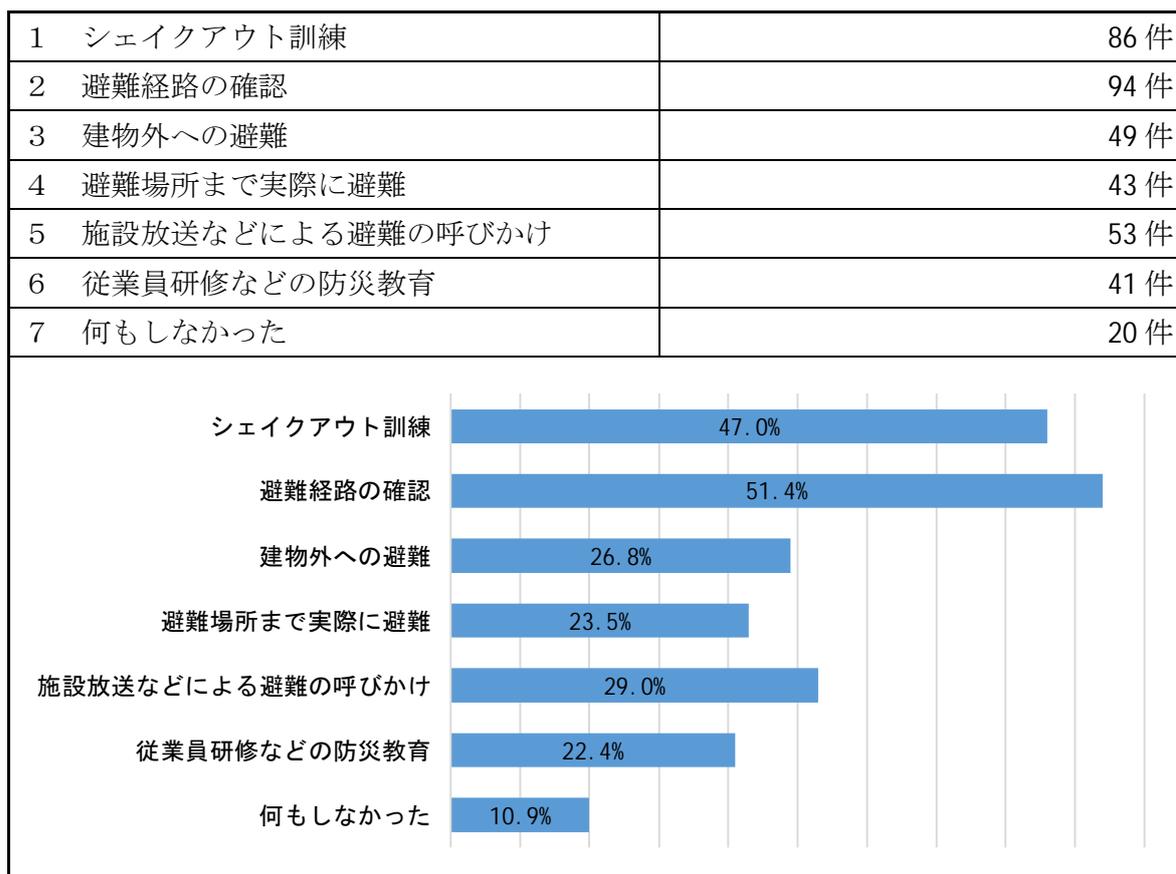
【その他として挙げた意見】

- ・避難先に関する懸念（避難先の安全性が心配/支援体制は整っているのか/数日間の滞在が可能な環境なのか不明/避難先が被災する可能性がある 等）
- ・生徒や利用者の誘導方法に関する懸念（支援を要する生徒や利用者を安全に誘導することができるか/被災した状況下で、生徒の保護者と連絡を取れるか心配 等）
- ・避難誘導する人員に関する懸念（夜間帯、休日などは対応人員が少ない 等）
- ・施設の孤立に関する懸念（神戸大橋、神戸スカイブリッジ等が被災した場合は孤立してしまう 等）

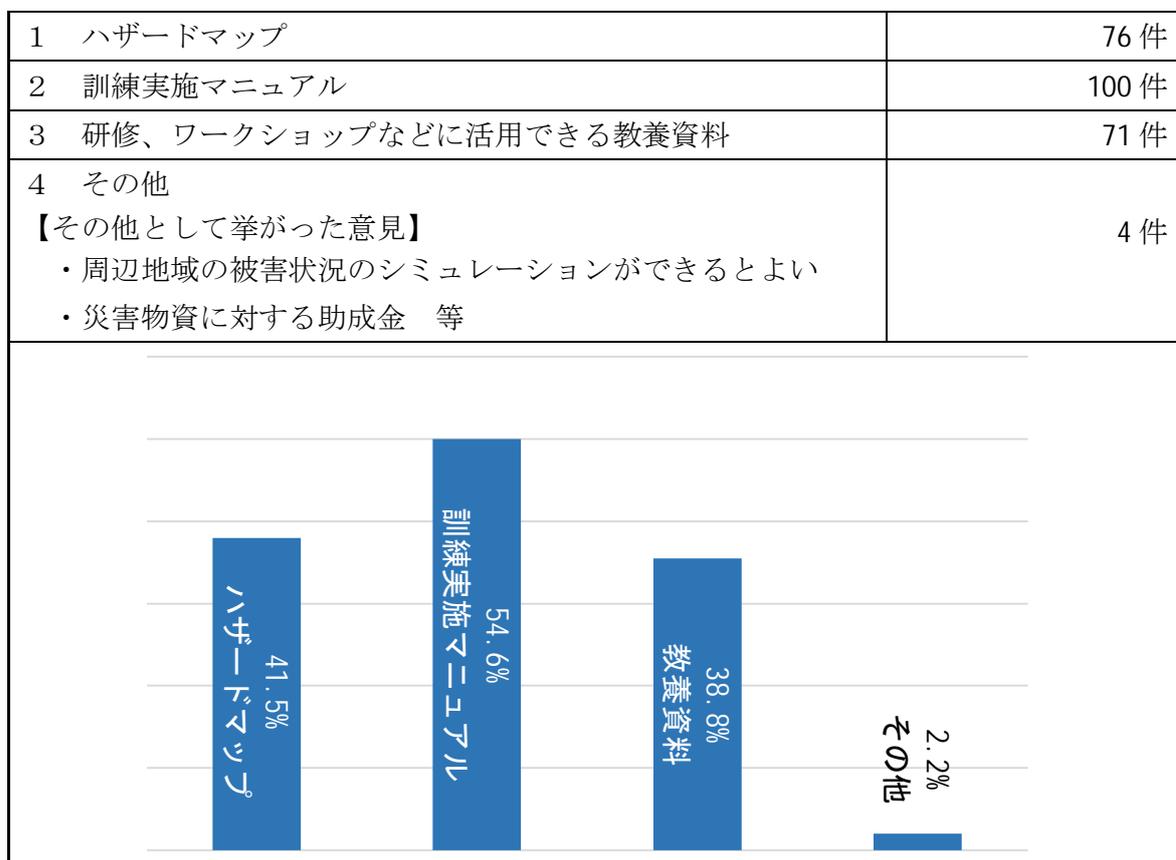


「避難先が未定、わからない」、「避難のタイミングが不明」、「家具等の転倒防止措置ができていない」と回答した事業所の割合は、昨年と比較して5ポイント以上減少（改善）し、各事業所で対策に取り組んでいることがうかがえる。

【問4】 11月5日「津波防災の日・世界津波の日」に伴い、11月1日～11月17日の間に貴団体の防災に関しどのような取組みをしましたか。(複数選択可)

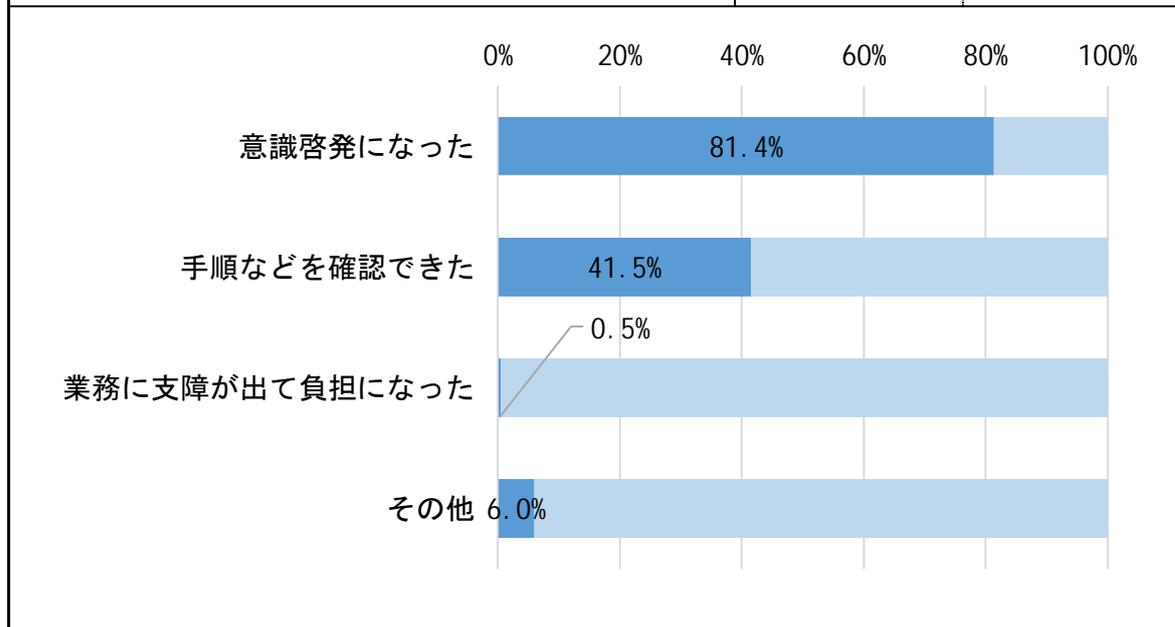


【問5】 こうした一斉避難訓練に際して、行政から提供してほしい情報はどのようなものですか。(複数選択可)



【問6】 今回の一斉訓練に対するご意見があれば教えてください。(複数選択可)

1 意識啓発になった	149 件	81.4%
2 手順などを確認できた	76 件	41.5%
3 業務に支障が出て負担になった	1 件	0.5%
4 その他 【その他として挙げた意見】 ・訓練を実施するきっかけになった ・平日午前中は仕事があるので無理 ・緊急速報メールを受信できないスマホがある ことが判明した 等	11 件	6.0%



2 津波一斉避難訓練アンケート集計結果（県簡易申請システム）

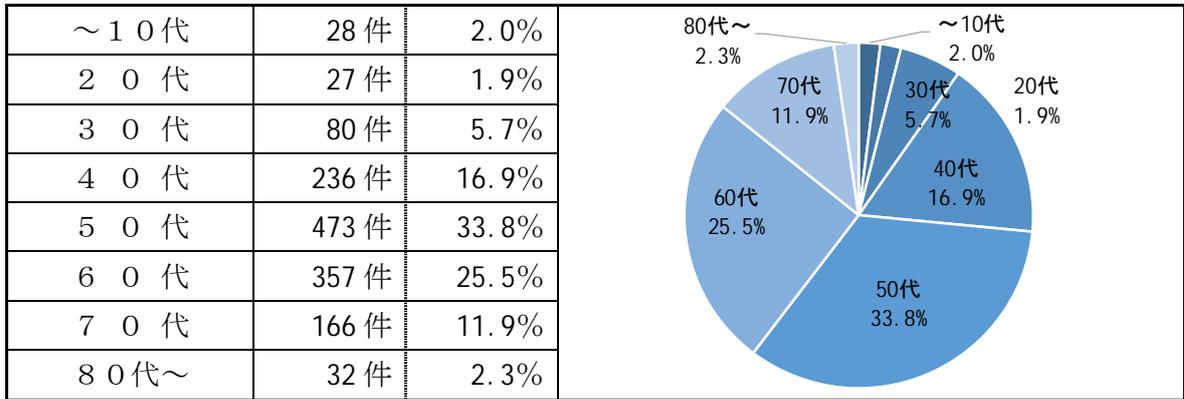
実施期間：令和6年11月11日（月）～11月28日（木）

集計方法：ひょうご防災ネット登録者に訓練アンケートを配信

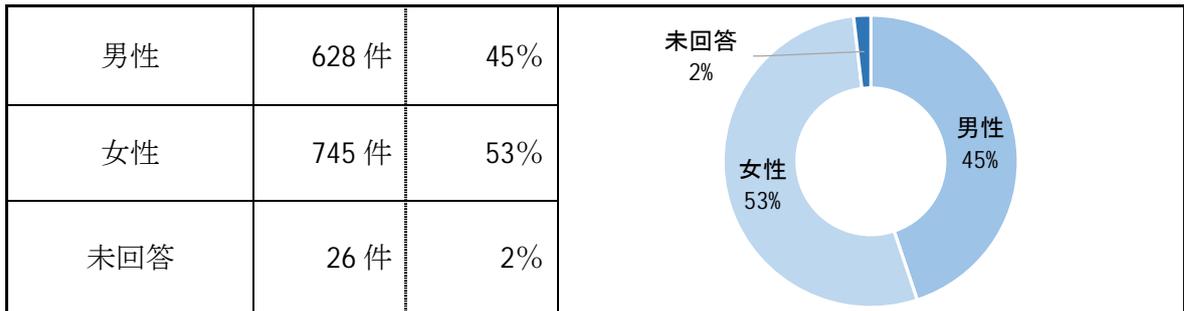
(1) 回答件数 1399 件

(2) 回答内容

【問1】年代



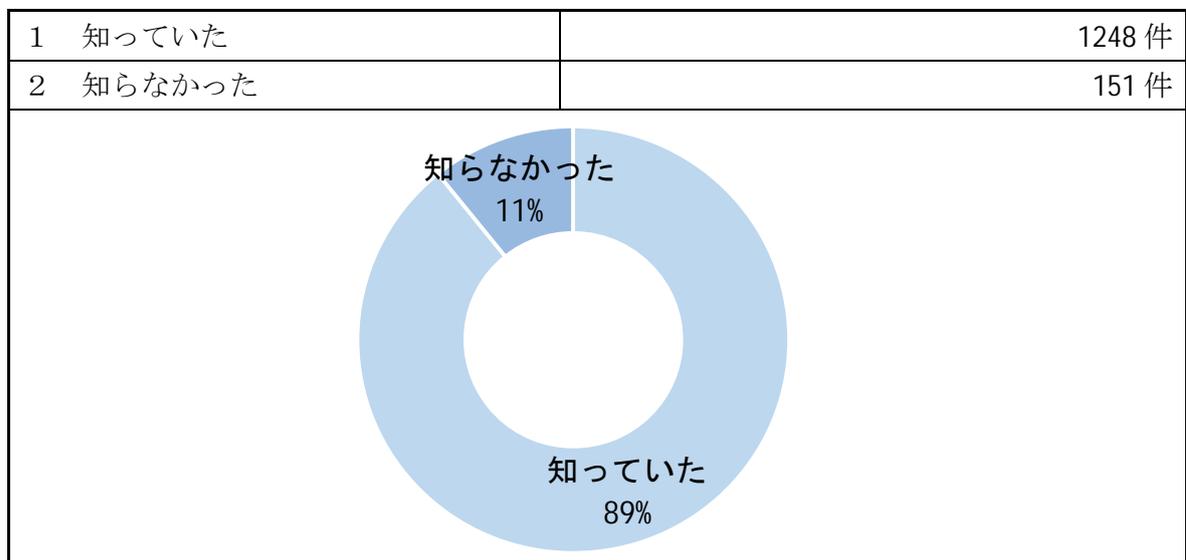
【問2】性別



【問3】市町内訳

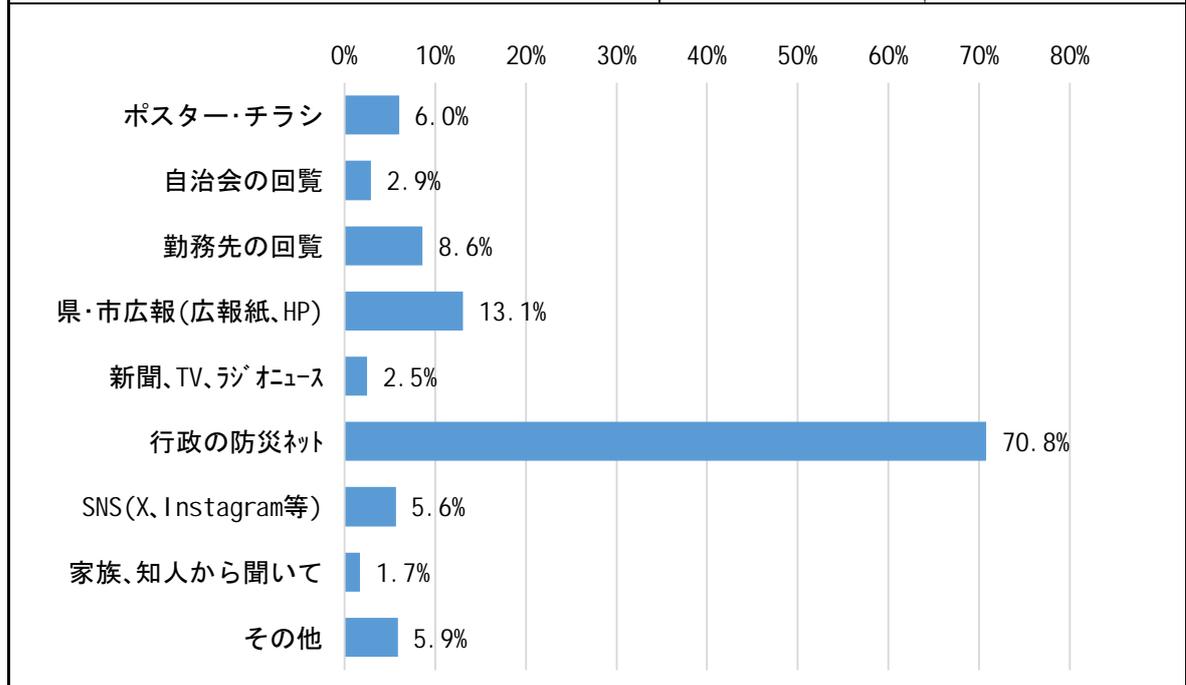
市町	件数	割合	件数
神戸市	439件	31.4%	0
尼崎市	76件	5.4%	100
西宮市	100件	7.1%	200
芦屋市	30件	2.1%	300
明石市	86件	6.1%	400
加古川市	105件	7.5%	
高砂市	21件	1.5%	
播磨町	8件	0.6%	
姫路市	140件	10.0%	
相生市	16件	1.1%	
たつの市	46件	3.3%	
赤穂市	27件	1.9%	
洲本市	19件	1.4%	
淡路市	26件	1.9%	
南あわじ市	26件	1.9%	
豊岡市	52件	3.7%	
香美町	3件	0.2%	
新温泉町	6件	0.4%	
その他	173件	12.4%	

【問4】11月5日に標記訓練が実施されることを事前に知っていましたか。



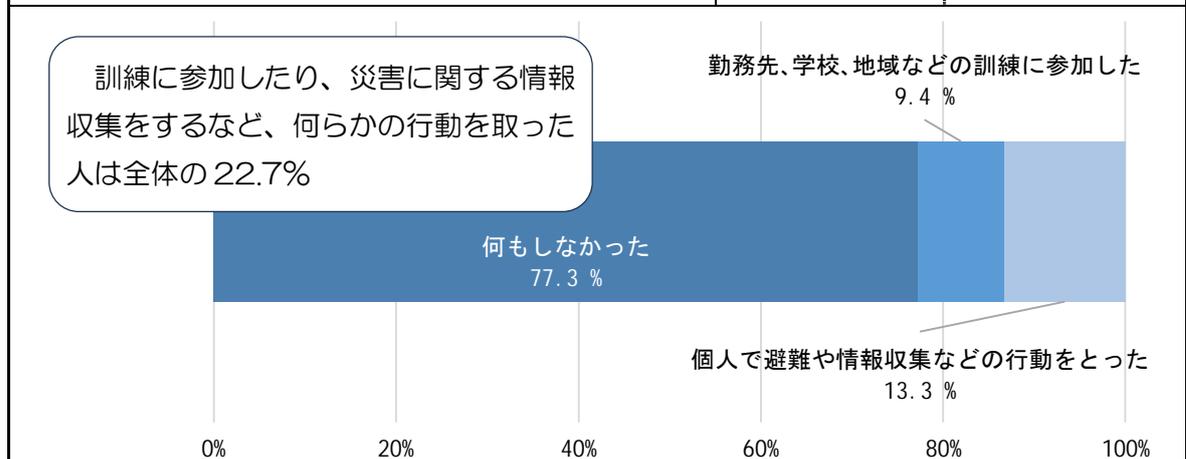
【問5】（問4で「知っていた」と答えた方）どのように知りましたか。（複数選択可）

1	ポスター、チラシ	84件	6.0%
2	自治会の回覧	41件	2.9%
3	勤務先の回覧	120件	8.6%
4	県・市広報（広報紙、HP）	183件	13.1%
5	新聞、テレビ、ラジオニュース	35件	2.5%
6	行政の防災ネットからのお知らせ	990件	70.8%
7	SNS（X（旧Twitter）、Instagramなど）	79件	5.6%
8	家族、知人から聞いて	24件	1.7%
9	その他	82件	5.9%

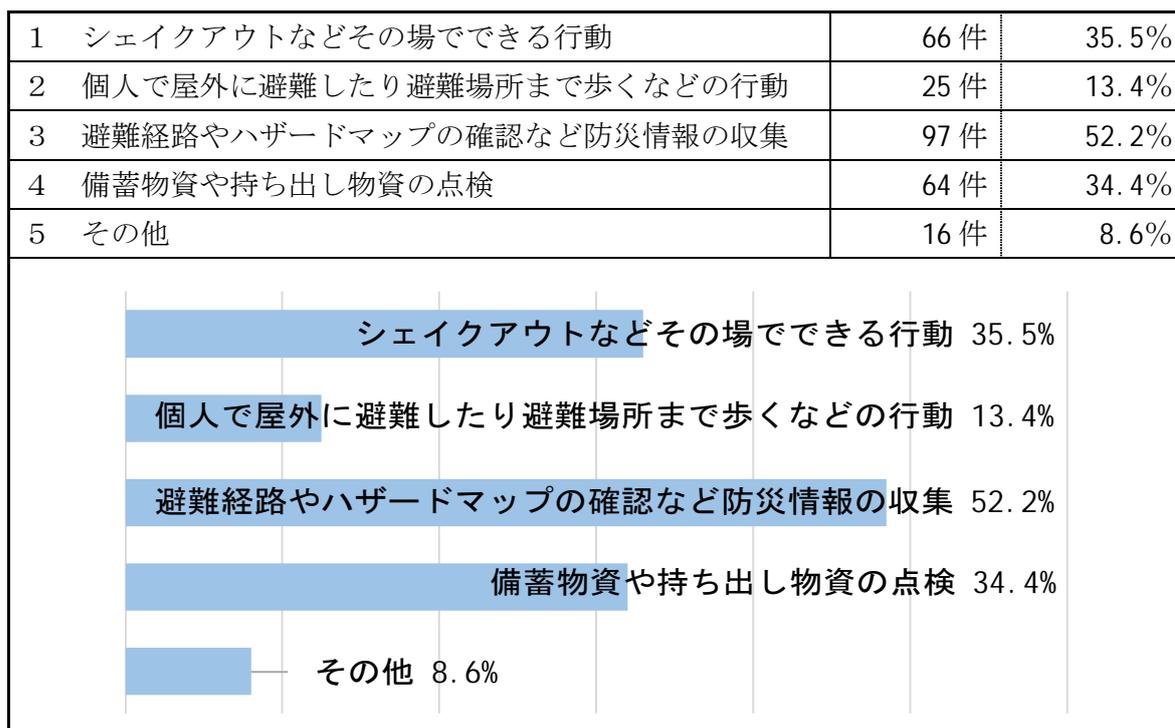


【問6】訓練の時間（午前10時頃）どのような行動を取りましたか。

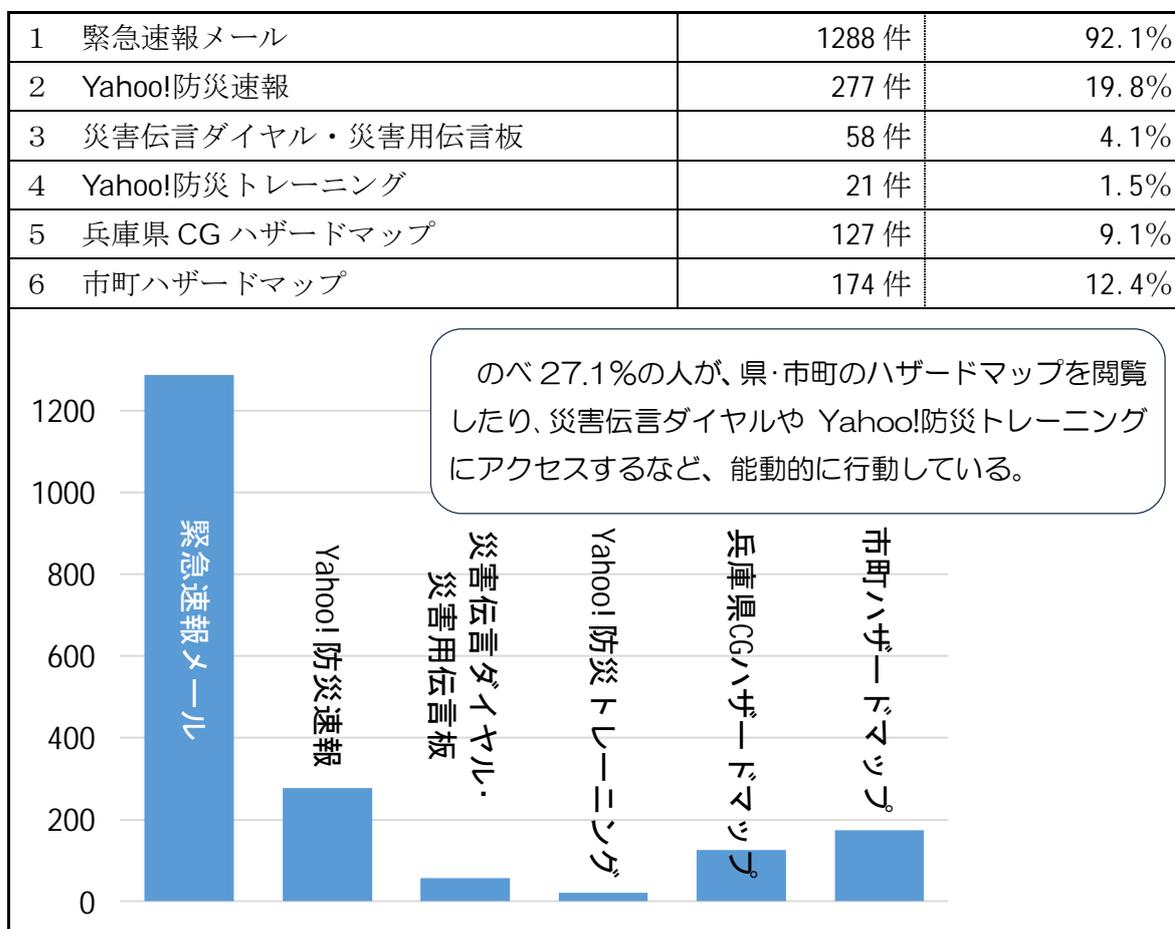
1	何もしなかった	1081件	77.3%
2	勤務先、学校、地域などの訓練に参加した	132件	9.4%
3	個人で避難や情報収集などの行動を取った	186件	13.3%



【問 7】（問 6 で「個人で避難や情報収集などの行動を取った」と答えた方）どのような行動を取りましたか。（複数選択可）



【問 8】11月5日には、スマートフォンなどの携帯端末を利用して以下の防災情報の提供を行いました。実際に体験（受信や閲覧を含む）したものを教えてください。（複数選択可）

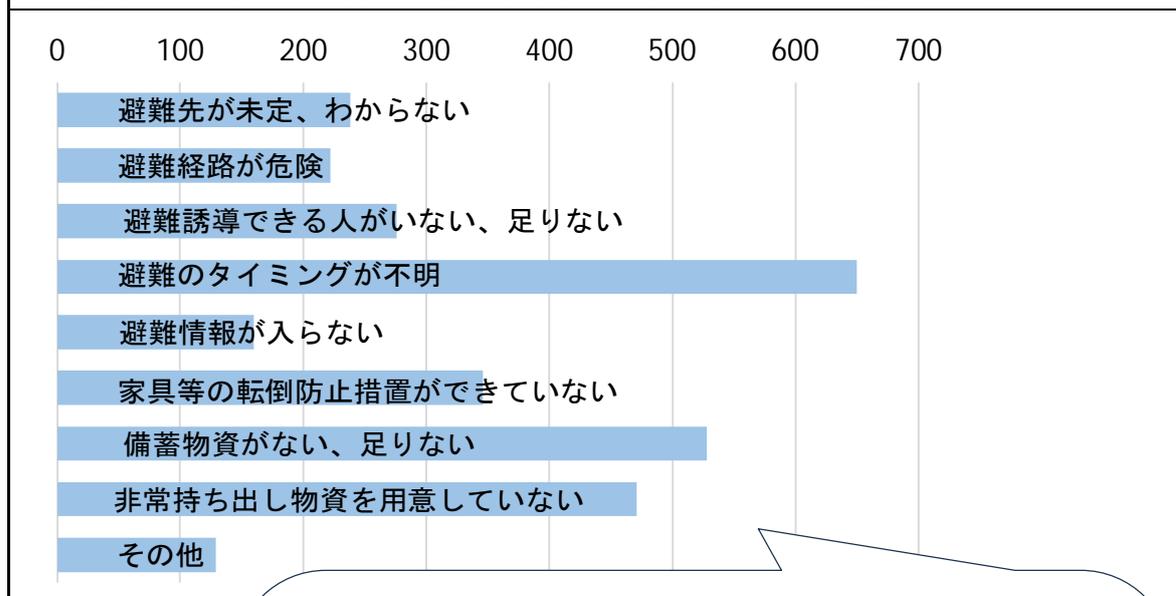


【問9】あなたが感じている南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震発生時の課題を教えてください。(複数選択可)

1	避難先が未定、わからない	238件	17.0%
2	避難経路が危険	222件	15.9%
3	避難誘導できる人がいない、足りない	276件	19.7%
4	避難のタイミングが不明	650件	46.5%
5	避難情報が入らない	160件	11.4%
6	家具等の転倒防止措置ができていない	346件	24.7%
7	備蓄物資がない、足りない	528件	37.7%
8	非常持ち出し物資を用意していない	471件	33.7%
9	その他	129件	9.2%

【その他として挙げた意見】

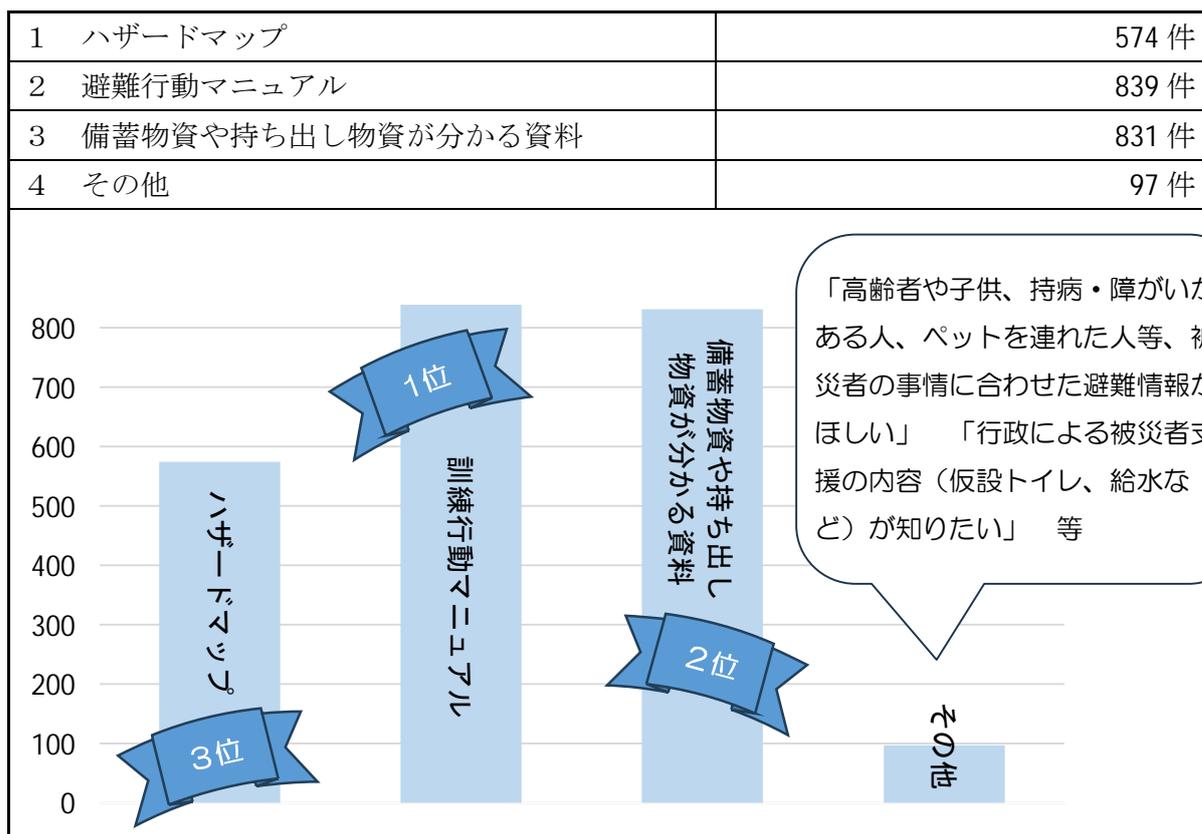
- ・自宅外で被災した場合の懸念（避難先が分からない、家族と連絡が取れない 等）
- ・避難の際の懸念（渋滞の心配、高齢者・乳幼児・障がい者はどう避難するのか 等）
- ・避難所・避難生活に関する懸念（乳幼児、障がい者は生活できるか、ペットは連れて行けるか、治安が悪くなりそう 等）
- ・家族との連絡手段（離れて暮らす家族と連絡が取れるか 等）



「避難先が未定、わからない」、「家具等の転倒防止措置ができていない」と回答した人の割合は、昨年と比較して10ポイント以上大幅に減少（改善）した。「避難のタイミングが不明」、「避難情報が入らない」と回答した人の割合も、昨年比5ポイント以上減少（改善）し、県民の危機意識、自助努力が広がっていることがうかがえる。

一方、「避難誘導できる人がいない、足りない」と回答した人の割合は昨年からほぼ横ばいであった。また、「その他」意見では避難の際の渋滞への懸念や、高齢者・障がい者・乳幼児の避難行動を不安視する声が複数寄せられるなど、実際に避難する際にスムーズに行動できるかを不安視する人が多かった。

【問 10】 こうした一斉避難訓練に際して、行政から提供してほしい情報はどのようなものですか。（複数選択可）



【問 11】 今回の一斉避難訓練に対するご意見があれば教えてください。（複数選択可）

